

君と僕の逃避行



FULL
COLOR

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



君と僕の逃避行



もう艦娘として戦うことは
できないでしょう

入るぞ時雨

カチカチ

あっ提督…

わざわざ来てくれて
ありがとう

ねえ…聞いたよね？

僕もう海に
出られないんだってさ

解体、かあ…
一体どうなるんだろう

普通の女の子に
なるって
本当なのかな

…嫌だ

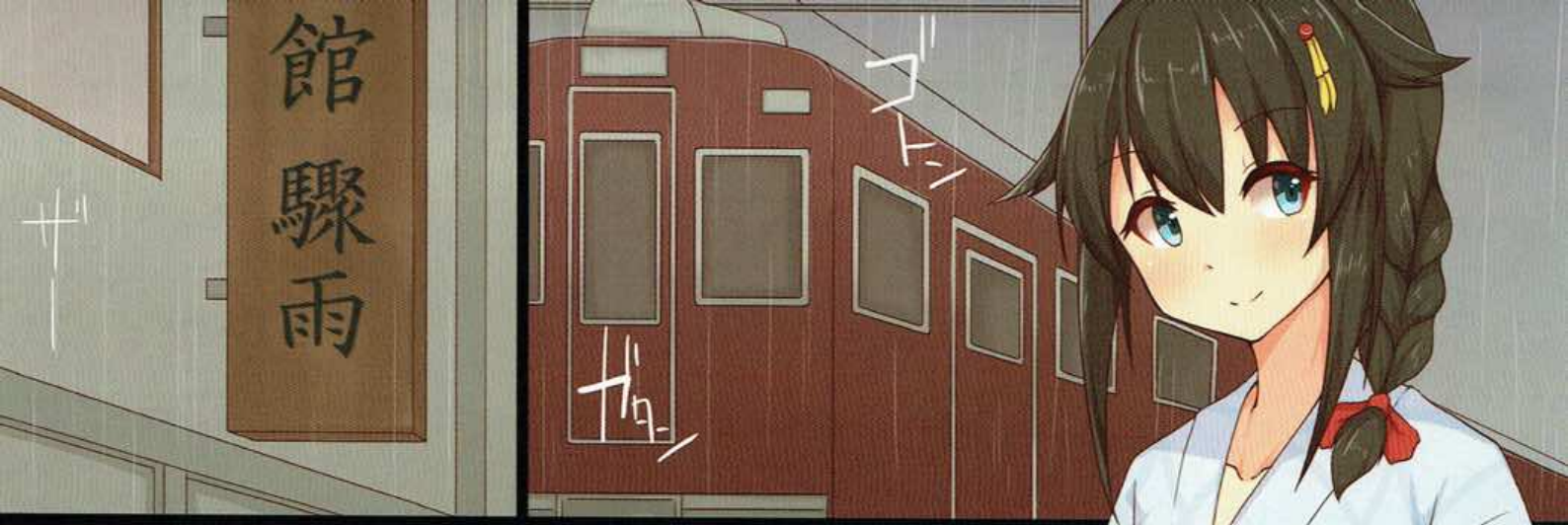
俺は時雨を
失いたくなんかない

だから…

提…

督…

だから
一緒に逃げよう



おー
浴衣あるじゃん

えへへ…
似合うかな

かわいいよ
よく似合っている



ねえ提督…



いいに決まっている



本当に

僕たちは
これでいいのかな



ああ
そっだね



時雨が
時雨でないのなら…な



提督が
提督でなくなっても？



「艦娘」じゃないんだ

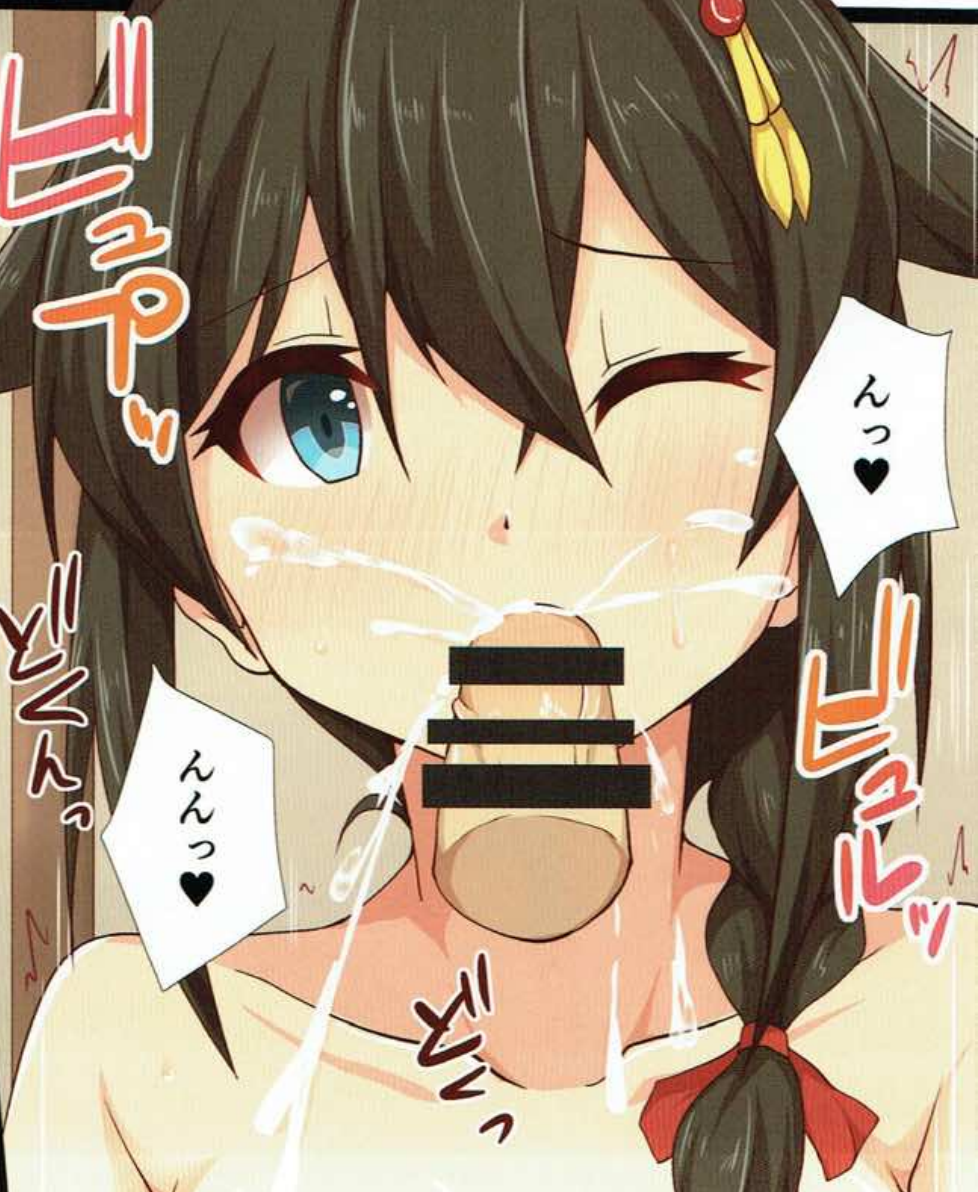
もう
僕は



時雨…

あっ…そこ…







ん…
なんだか変な味だね

けど
提督の味だ

…ねえ
じゃあ次は



僕の中に
はー

提督をちようだい

くしば あっ♡



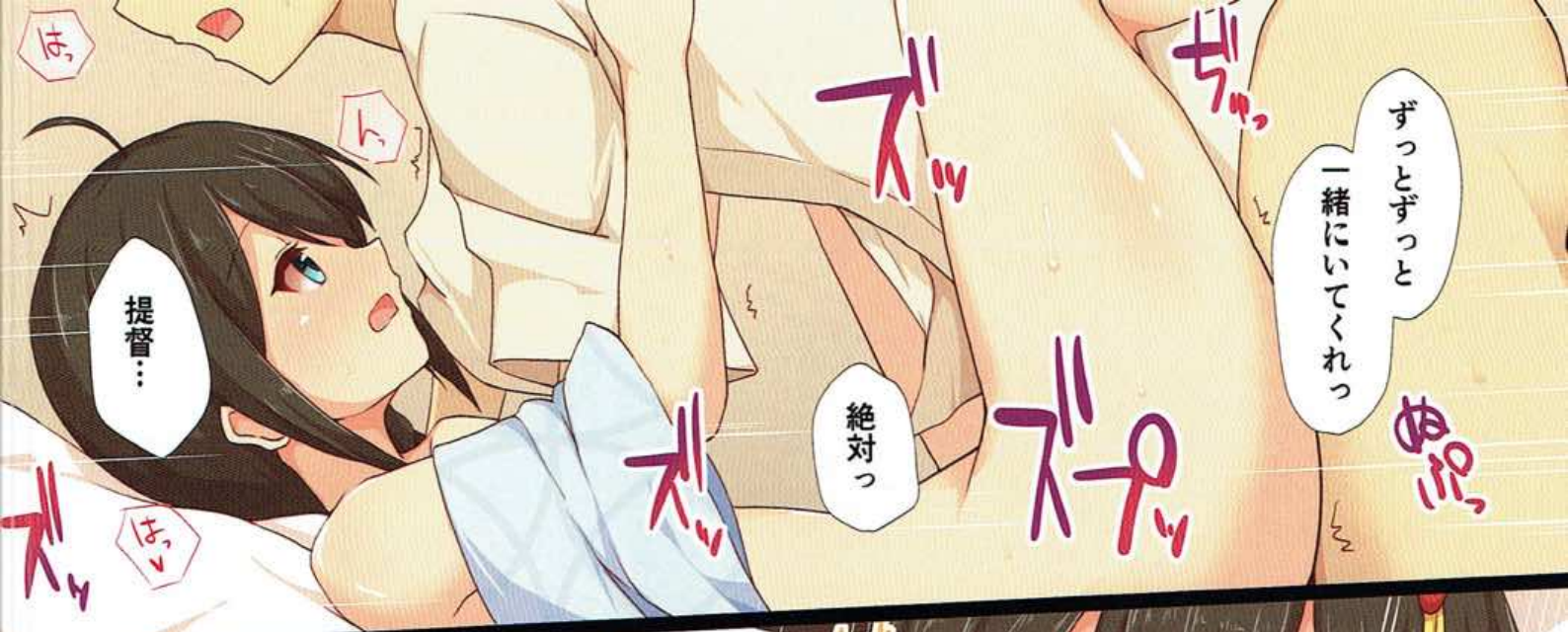
俺も時雨を
全身で感じてやる…っ

…ああ



グワッ…

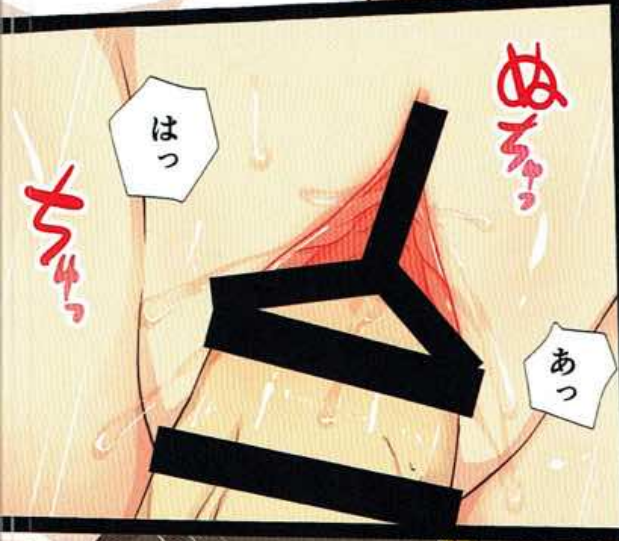




ずっとずっと一緒にいてくれっ

絶対っ

提督...



そこ...ダメ...っ

...っ!



あっ...もういきそうだった

このまま臍内に出すよっ

僕もいつちゃうっ

きて...っ
提督の全部を僕にちょうだいっ

ちゅっ

ちゅっ

すっちゅっ

すんっ



時雨っ!!

ああっ!!

提督…っ!

あーっ

あーっ

あーっ

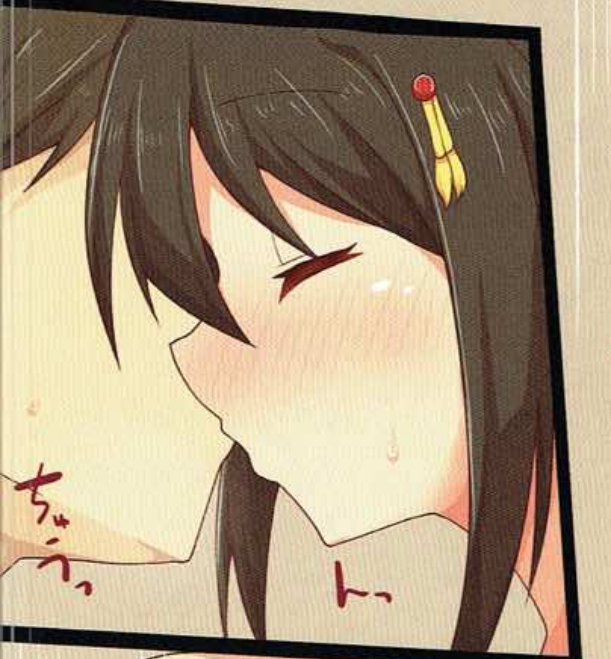
あーっ

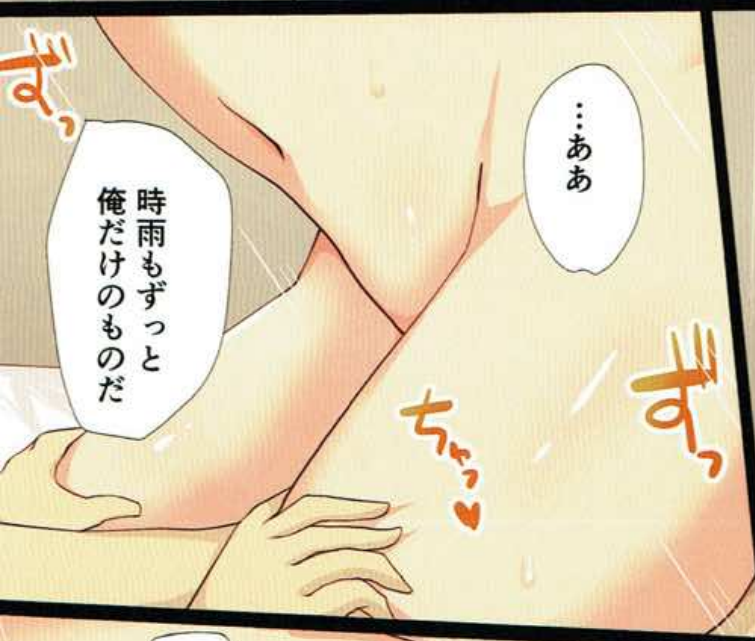
あーっ

あーっ

あーっ

あーっ







子

子

子

子

子

子

子

子

子

子

子



その後も
何度も何度も



不安から
目を背けるように



僕たちは
身体を重ね合わせた



とっても温かくて
なんだか安心するよ

はあ

はあ

僕の中に
提督のがこんなにな...

オオ...



ねえ提督
これからどうなるか
わからないけれど

僕は
提督と一緒になら...



うん

行こうか



ちょうど
お預かりします

はい確かに



この雨が
降っている間は？

さあな

降っている間は
せめて



雨はいつか
止むけれども

どこまで行くのかな

どこまでも、さ



僕たちの逃避行を

隠し続けてくれ

あとがき

どうもこんにちは白鳳です。

この度は拙作をお手にとっていただき誠にありがとうございます。楽しんでいただけましたでしょうか？
何かご意見や感想等ございましたら、Twitterやメール・Pixivメッセージなどでお寄せいただけたらと思います。

この本、原案自体は春先頃からあって、5月砲雷で出した短編集に収録する予定だったのですが、
ネームを切っていると8p程度に収まらないなということがわかり、こうして一冊の本にすることにしました。

時雨は少しだけメタ的な世界に生きていそうで、セカイ系との相性の良さを感じます。
そのせいか周りの二次創作を見ていると、時雨と世界の二択を迫るようなものが多い気がしますね。
この作品も、全てを捨てて時雨を選ぶか？という破滅的な選択がテーマですし。

さてそれではこれから2冊めの新刊に取り掛かろうと思います。
サラトガちゃんが魅力的すぎて…箱買いしたモンエナとともに原稿頑張ります！
ではでは！

謝辞

時雨ちゃんの魅力を説いてくださった時雨沼の住人の皆様、シナリオ監修してくださった高坂流様(妖精時計)、
作業Skypeやハングアウトに付き合ってくれた友人・フォロワーの皆様、特売のモンスターエナジー、
そしてこの本を手にとってくれたあなた

奥付

君と僕の逃避行

発行 白鳳 (Ende der Welt)

連絡先 【Mail】 hakuho@edw.sakura.ne.jp 【Twitter】 @il_hakuho
【Pixiv】 2549658 【Web】 <http://edw.sakura.ne.jp/>

印刷 グラフィック様

発行日 2016/12/31 コミックマーケット91 3日目

この作品を無断で複製・転載・再配布およびインターネット上で公開することを禁じます。
違反した場合、然るべき法的措置を撮らせて頂く場合がございます。

ENDE DER WELT